

二五〇三番

夕ゆふされば 床とこの辺へ去さらぬ 黄楊枕つげまくら なにしか汝なれの
主待ぬしまち難かたき

二五〇四番

解とき衣きぬの 恋こひ乱みだれつつ 浮うき砂まなこ 生いきても我あれ
は あり渡わたるかも

二五〇五番

梓弓あうさゆみ 引ひきてゆるさず あらませば かかこる恋ひ
には あはぢぢらましき

二五〇六番

言こと霊だまの 八や十その衢ちまたに 夕ゆふ占ふ問ひとふ 占う正まに告のる 妹いも
は相寄あひよらむ